

平成28年

# 消防統計

火災統計

救急統計

救助統計

大崎地域広域行政事務組合

消防本部

## 目 次

### 第1章 火災統計

大崎管内における火災概要

1	出火状況	1
	火災発生状況（図1）	2
	月別火災発生状況（図2）	2
2	死傷者	3
	過去10年間の火災による死傷者状況（図3）	3
3	損害額	3
	市町別損害状況（図4）	3
	1万人当たりの出火率（図5）	4
4	出火原因	4

### 第2章 救急統計

1	大崎管内における救急業務の実施状況	5
	過去10年間の救急出動件数の推移（図2）	6
2	事故種別出動件数及び搬送人員の状況	6
3	救急隊別出動状況	6
4	市町別出動状況	7
5	傷病程度別、年齢別搬送人員状況	8
6	月別救急出動状況	9
7	収容先別搬送人員状況	10
8	救急隊員の行った救急処置の状況	11
9	PA連携出動状況	12

### 第3章 応急手当講習会等の概要

1	講習会の開催状況	13
2	性別・年齢別受講者の状況	14
3	講習会開催の推移	15
4	講習会の効果	16

### 第4章 救助統計

	大崎管内における救助概要	17
	救助出動概要（図1）	17
	過去5年間における救助概要（図2）	17
	救助事案発生場所（図3）	17

# 第1章 火災統計

## 大崎管内における火災概要

### 1 出火状況

平成28年中における総出火件数は85件（前年比11件増）であり、約4.3日に1件の割合で発生したことになります。（表1）

表1 市町別火災件数

	大崎市	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	計
平成28年	61	2	8	6	8	85
平成27年	46	3	12	6	7	74
前年比	15	-1	-4	0	1	11

火災種別ごとの出火件数は、建物火災が50件（前年比17件増）58.8%、林野火災が3件（前年比2件増）3.5%、車両火災が14件（前年比6件増）16.5%、その他火災が18件（前年比14件減）21.2%となりました。（図1）

また、市町別ごとの出火件数は、大崎市61件（71.8%）、色麻町2件（2.3%）、加美町8件（9.4%）、涌谷町6件（7.1%）、美里町8件（9.4%）となりました。（表2）

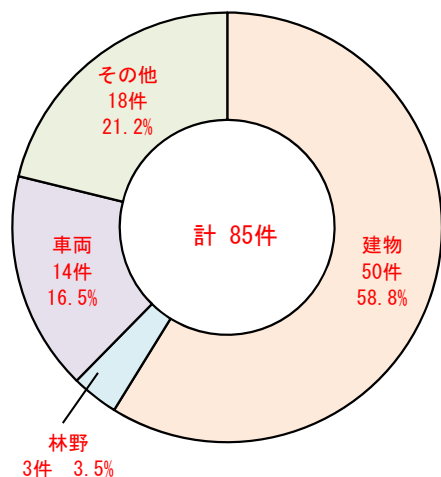
表2 市町別火災統括表

	火災件数					焼損棟数	り災		死者	負傷者	世帯数	人口
	合計	建物	林野	車両	その他		世帯	人員				
大崎市	61	37	2	8	14	51	21	53	4	11	50,712	133,226
色麻町	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2,109	7,137
加美町	8	5	0	2	1	18	15	48	1	4	8,089	24,212
涌谷町	6	5	1	0	0	5	5	13	0	0	6,048	16,768
美里町	8	3	0	2	3	5	1	1	0	1	9,001	24,975
大崎圏全体	85	50	3	14	18	79	42	115	5	16	75,959	206,318

※世帯数・人口は平成28年12月末現在（宮城県住民基本台帳より）

	一万 人 当 り 出 火 率	損 害 額				焼 損 面 積		
		総額 (千円)	1件当り (千円)	一世帯当り (円)	一人当り (円)	建物 面積 (㎡)	1件当り (㎡)	林野 面積 (a)
大崎市	4.58	129,654	2,125	2,557	973	2,729	73.8	10
色麻町	2.80	257	129	122	36	0	0.0	0
加美町	3.30	66,850	8,356	8,264	2,761	1,172	234.4	0
涌谷町	3.58	2,170	362	359	129	33	6.6	1
美里町	3.20	26,835	3,354	2,981	1,074	765	255.0	0
大崎圏全体	4.12	225,766	2,656	2,972	1,094	4,699	94.0	11

図1 火災発生状況



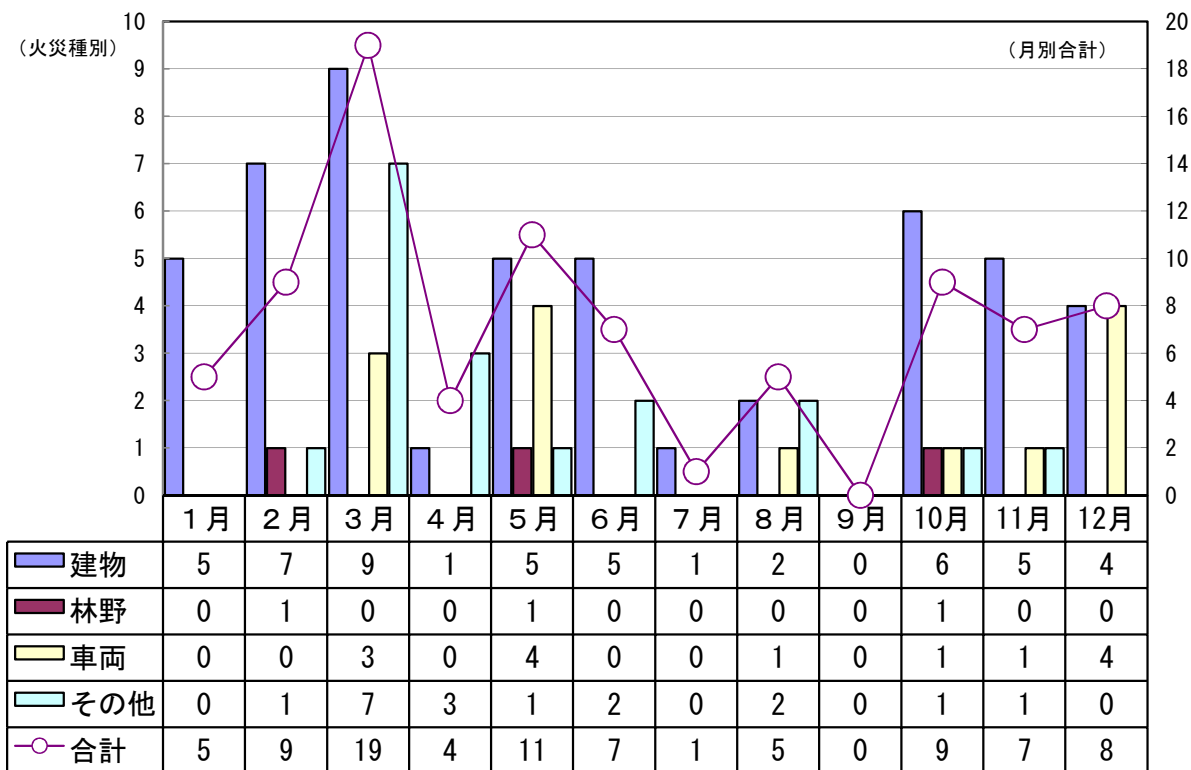
全 焼	27棟
半 焼	7棟
部分焼	31棟
ぼ や	14棟
合計	79棟

火災種別	大崎市	色麻町	加美町	涌谷町	美里町	合 計
建 物	37	0	5	5	3	50
林 野	2	0	0	1	0	3
車 両	8	2	2	0	2	14
その他	14	0	1	0	3	18
合 計	61	2	8	6	8	85

月別の火災件数は、3月が19件、5月が11件、2月と10月がそれぞれ9件と、この4ヶ月間で、火災全体の56.5%（48件）の火災が発生しました。

建物火災では、3月（9件）、2月（7件）、10月（6件）に火災が多く発生し、建物火災の44%（22件）を占めました。（図2）

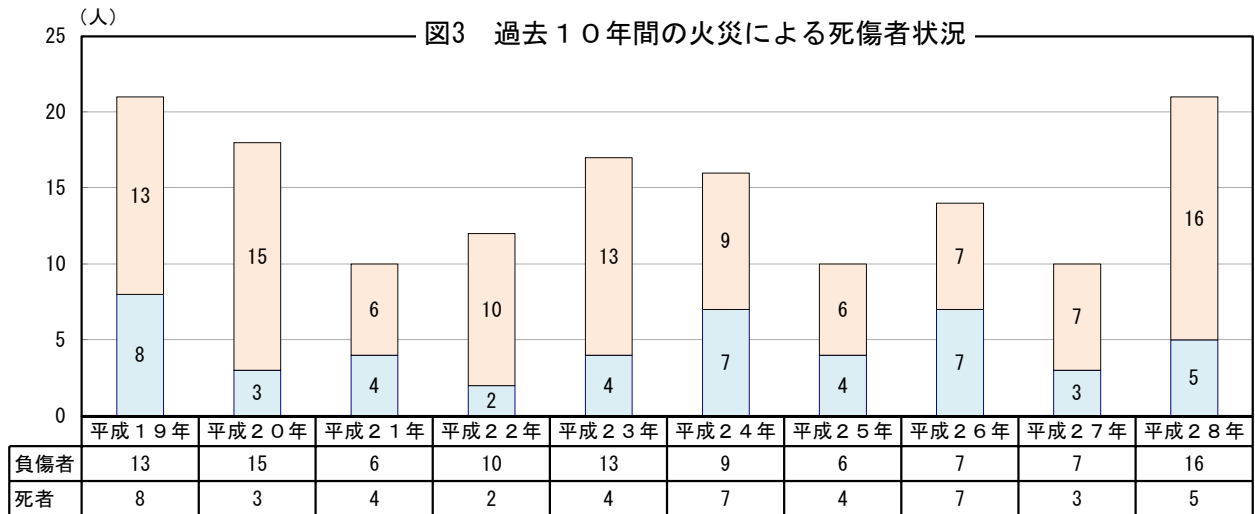
図2 月別火災発生状況



## 2 死傷者

火災による死者は5名で前年より2名増加しています。

火災種別ごとの死者発生状況は、建物火災2名、車両火災2名、その他火災1名となりました。（図3）



火災による負傷者は16名で前年より9名増加しました。

負傷者は消火作業中8名、避難中3名、その他5名の発生となりました。（図3）

## 3 損害額

平成28年中における火災による損害額は2億2,576万6千円で、前年と比較すると、8,580万7千円多くなりました。

火災種別ごとの損害額は、建物火災が2億2,437万3千円、林野火災が2万5千円、車両火災が123万6千円、その他火災による損害が13万2千円となりました。

火災1件当たりの損害額は265万6千円となり、一世帯当たりの損害額は2,972円、住民一人当たりでは約1,094円となりました。（表2・図4）

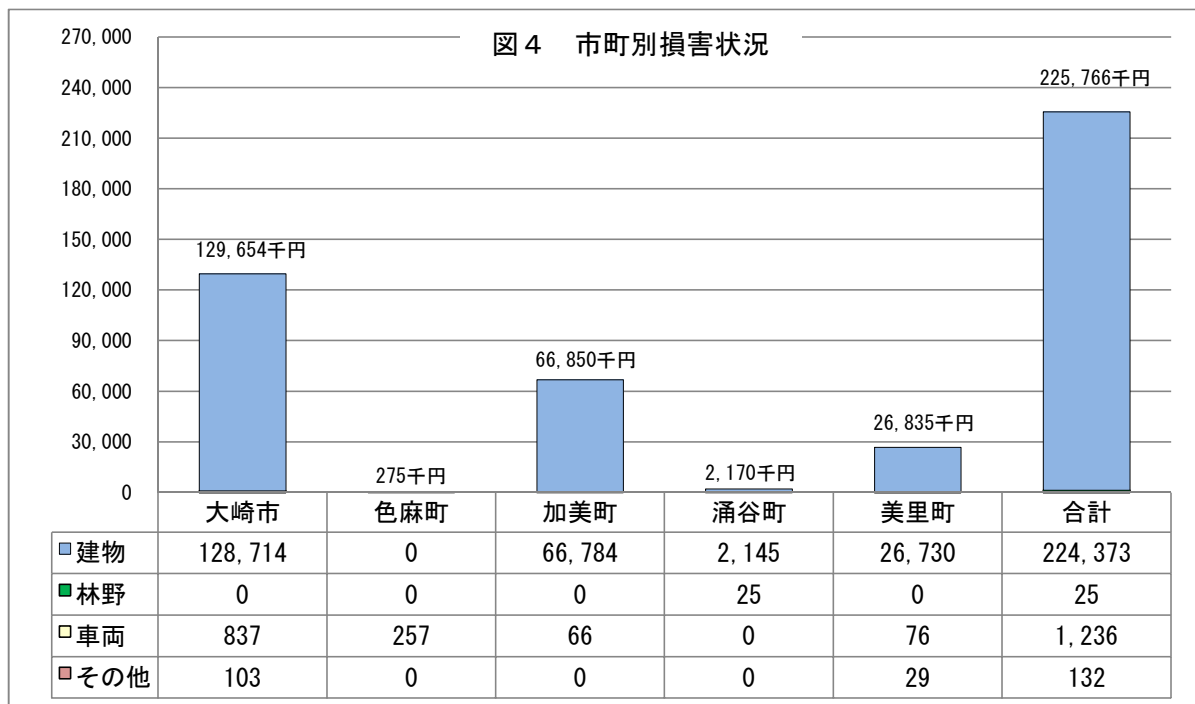
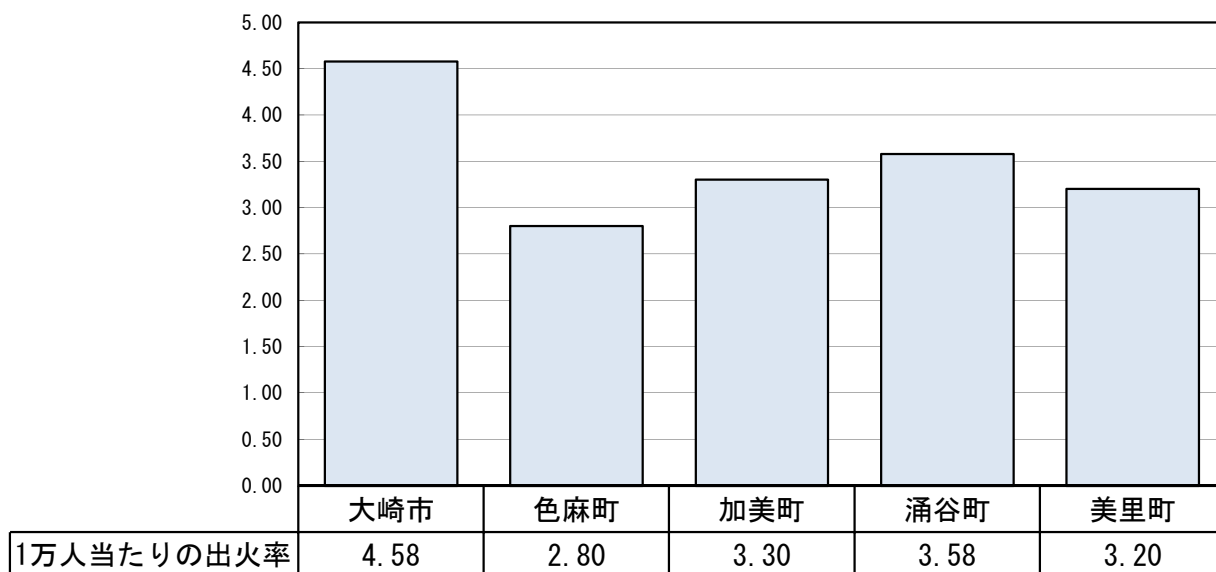


図5 1万人当たりの出火率



#### 4 出火原因

主な出火原因は、「放火」が11件、次いで「コンロ」と「ストーブ」がそれぞれ6件、「たばこ」と「放火の疑い」がそれぞれ5件、「火入れ」が4件の順となりました。（表3）

表3 主な出火原因

	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年
たばこ	8	9	14	11	8	13	5	4	6	3	5
コンロ	5	6	7	4	7	4	3	3	0	2	6
ストーブ	1	2	6	2	6	10	2	3	3	6	6
煙突・煙道	1	0	3	4	3	1	3	2	1	2	0
電気機器				1	3	5	5	2	1	1	1
電灯等配線	2	4	5	4	4	1	5	1	3	7	3
配線器具	2	1	1	1	1	3	1	4	2	0	3
火遊び	5	1	2	2	3	1	1	2	3	0	0
たき火	8	13	9	8	7	5	5	12	4	4	1
溶接・切断機					2	3	2	2	1	1	1
火入れ	3	8	13	8	3	8	5	12	10	10	4
放火	4	8	1	5	1	2	4	4	5	6	11
放火の疑い	3	7	15	7	2	3	6	2	7	4	5

## 第2章 救急統計

### 1 大崎管内における救急業務の実施状況

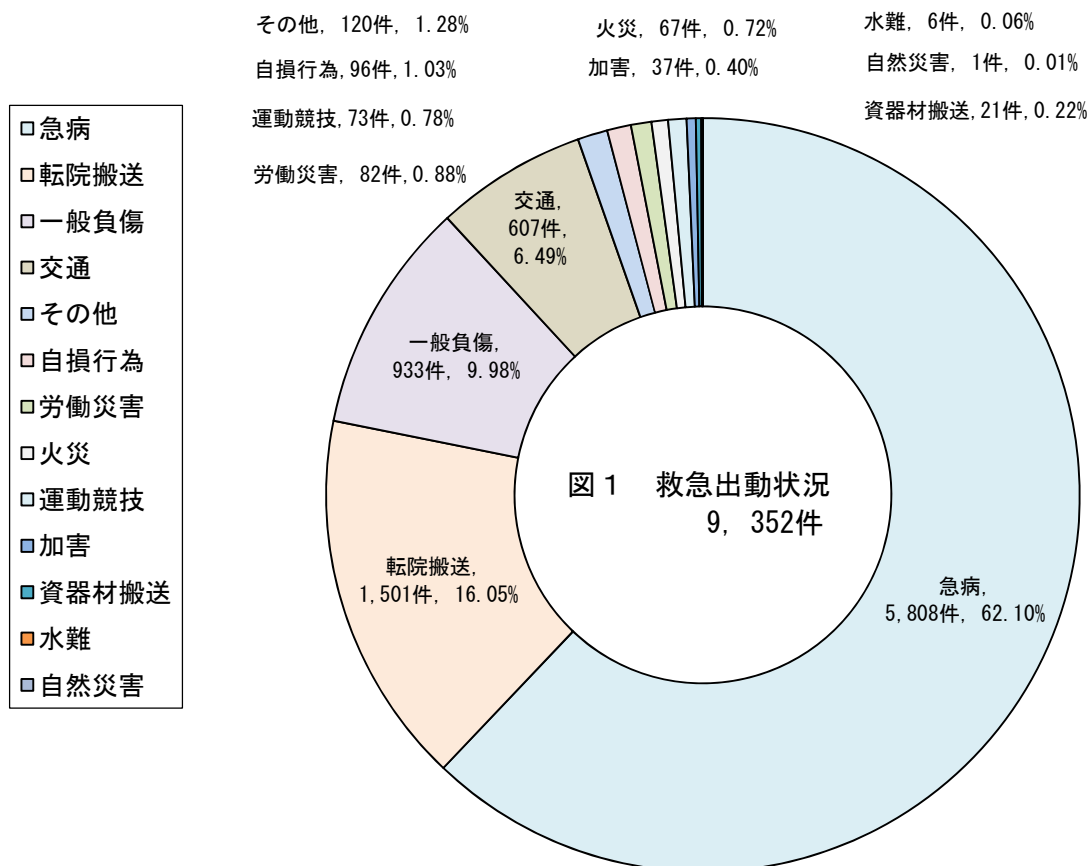
平成28年中における救急出動件数は、9,352件(前年比106件減)で搬送人員が8,738人(前年比101人減)となりました。これは一日平均で26件(約56分に1件)の割合で救急隊が出動し、管内の約24人に1人が救急隊により搬送されたこととなります。(表1・図1)

表1 平成28年救急出動状況

区分	年別比較	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
出動件数	平成28年	9,352	67	1	6	607	82	73	933	37	96	5,808	1,501	0	21	120
	平成27年	9,458	41	10	11	550	66	65	1,021	29	83	5,818	1,614	0	23	127
	比較	-106	26	-9	-5	57	16	8	-88	8	13	-10	-113	0	-2	-7
不搬送件数	平成28年	743	55		5	53	1	3	55	9	34	388	3	0	21	116
	平成27年	730	37	8	4	39	5	1	64	8	21	396	4	0	23	120
	比較	13	18	-8	1	14	-4	2	-9	1	13	-8	-1	0	-2	-4
搬送人員	平成28年	8,738	14	1	1	661	81	74	879	33	62	5,427	1,499			6
	平成27年	8,839	4	2	7	608	61	64	962	22	62	5,427	1,611			9
	比較	-101	10	-1	-6	53	20	10	-83	11	0	0	-112			-3

平成28年中における大崎圏の出動割合

月平均	779件	1日平均	26件	56分に1件
管内人口割合	24人に1人を搬送	管内世帯割合	9世帯に1人を搬送	

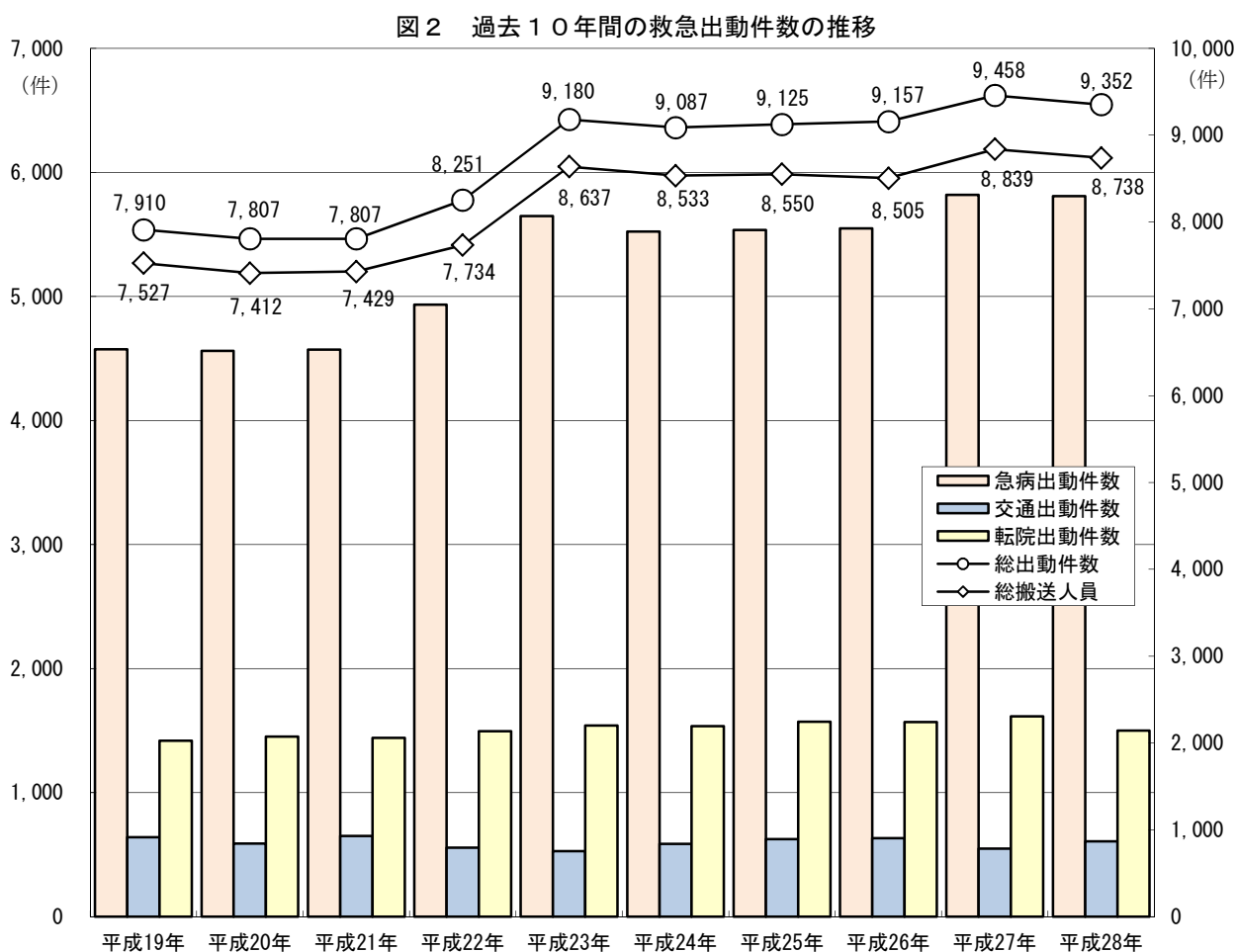


※世帯数・人口は平成28年12月末現在(宮城県住民基本台帳より)

管内世帯数 75,959世帯

管内人口 206,318人

また、過去10年間の救急出動件数は、平成19年から平成21年にかけて減少傾向にありましたが、平成23年から6年連続9,000件を超え、引き続き高い出動件数となりました。  
(図2)



## 2 事故種別出動件数及び搬送人員の状況

事故種別ごとの出動件数は、急病が5,808件（前年比10件減）と全出動件数の62.1%を占め、次いで転院搬送の1,501件（前年比113件減）、一般負傷の933件（前年比88件減）の順となりました。

また、搬送人員は、急病5,427人（前年比同数）、転院搬送1,499人（前年比112人減）、一般負傷879人（前年比83人減）の順となりました。（表1・図1）

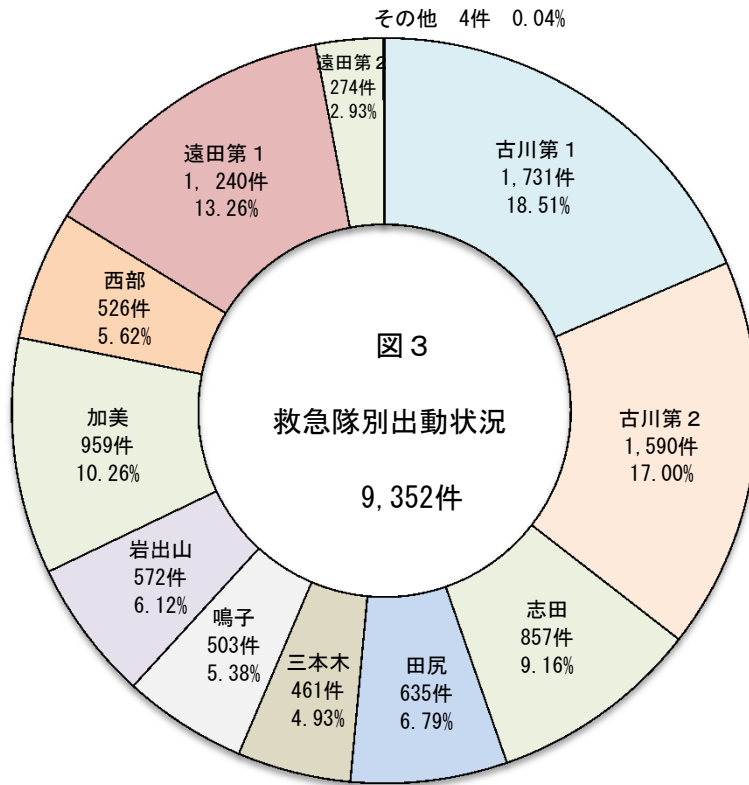
## 3 救急隊別出動状況

救急隊別の出動件数を前年比で見ると、合計で106件減少していますが、古川第2・志田・田尻・西部・遠田第1救急隊の出動件数が昨年より増加となりました。（表2・図3）

表2 救急隊別出動状況

	古川第1	古川第2	志田	田尻	三本木	鳴子	岩出山	加美	西部	遠田第1	遠田第2	その他	合計
平成28年	1,731	1,590	857	635	461	503	572	959	526	1,240	274	4	9,352
平成27年	1,754	1,570	829	627	543	532	575	1,016	489	1,224	294	5	9,458
比較	-23	20	28	8	-82	-29	-3	-57	37	16	-20	-1	-106

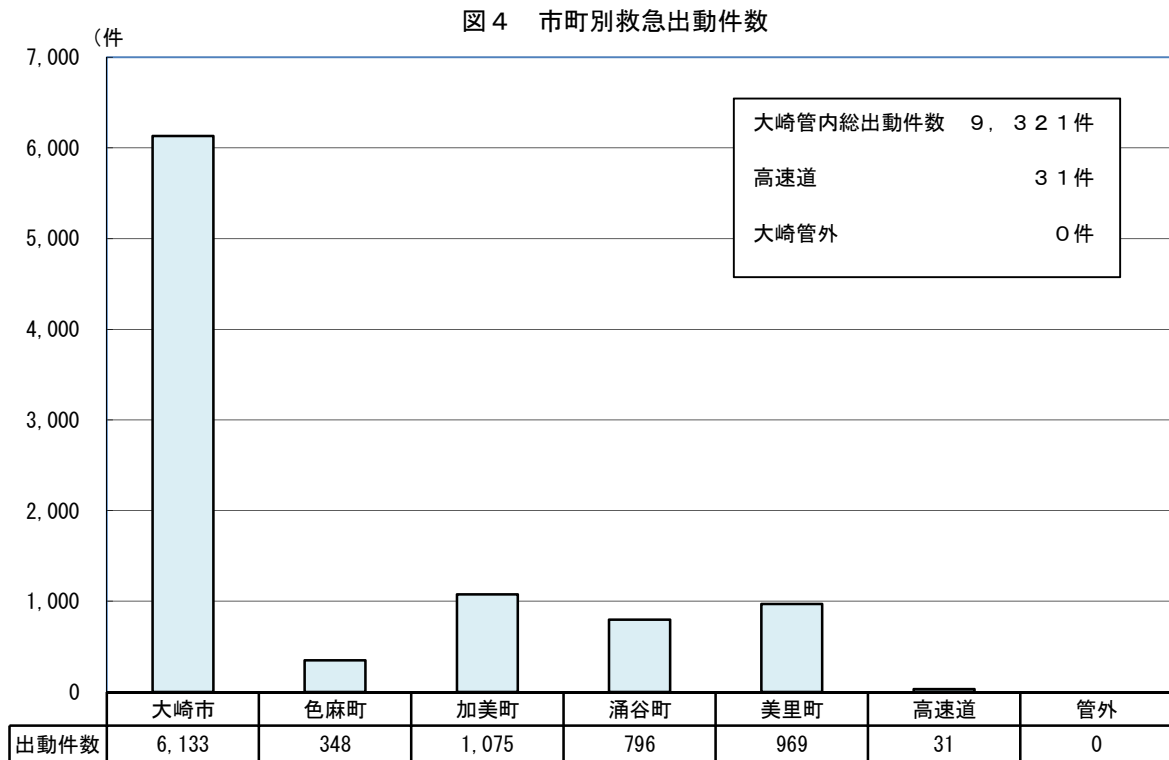




#### 4 市町別出動状況

市町ごと（高速道及び管外含む）の出動件数は、大崎市6,133件、色麻町348件、加美町1,075件、涌谷町796件、美里町969件となりました。

また、高速道（東北自動車道）に31件、管外への出動はありませんでした。（図4）

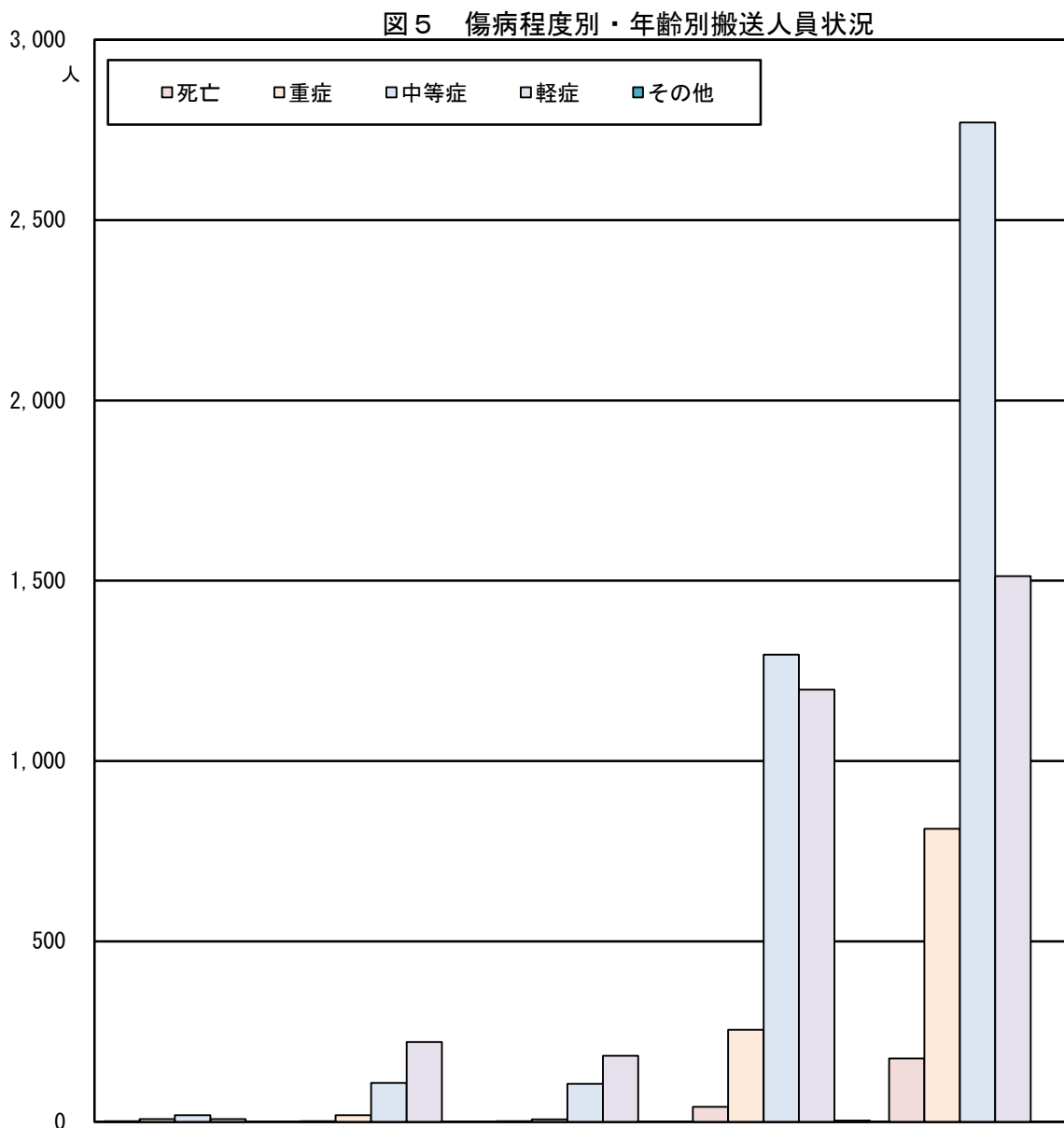


## 5 傷病程度別、年齢別搬送人員状況

搬送した8,738人の傷病程度は、病院収容後に死亡した人が219人、重症が1,098人、中等症が4,296人、軽症が3,122人、その他が3人となりました。

死亡、重症、中等症の傷病者の割合は全体の約64.2%、入院加療を必要としない軽症傷病者等の割合は35.8%となりました。

また、年齢別では高齢者（65歳以上）が全体の約60.3%を占めました。（図5）



区分	新生児 (生後28日未満)	乳幼児 (28日～6歳)	少年 (7歳～17歳)	成人 (18歳～64歳)	高齢者 (65歳以上)	計
死亡	1	1	1	41	175	219
重症	7	18	6	255	812	1,098
中等症	18	107	105	1,295	2,771	4,296
軽症	7	221	183	1,198	1,513	3,122
その他	0	0	0	3	0	3
合計	33	347	295	2,792	5,271	8,738

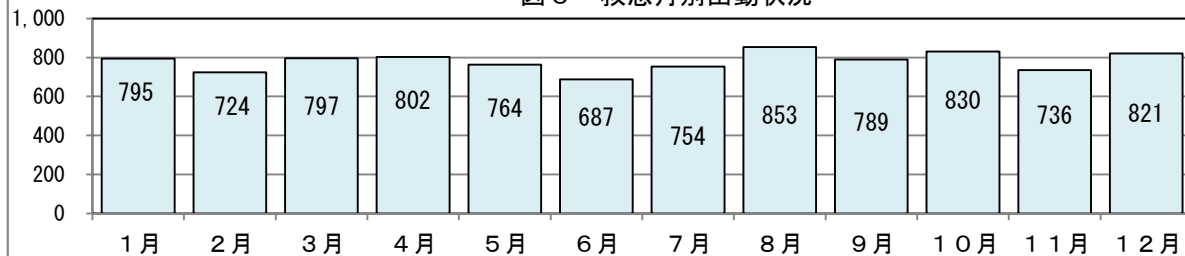
## 6 月別救急出動状況

救急隊の1ヶ月の平均出動件数は約779件で、最も多い月は8月で853件、次いで10月の830件となりました。（表3・図6）

表3 平成28年月別及び事故種別毎出動・搬送等状況

月別	区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
1月	出動件数	795	7			43	4	1	69	2	12	528	118		1	10
	搬送件数	709	0			39	4	1	67	2	5	473	118		0	0
	搬送人員	716	0			46	4	1	67	2	5	473	118		0	0
2月	出動件数	724	7			30	5	2	76	3	14	446	123		1	17
	搬送件数	648	0			30	5	2	69	2	9	408	123		0	0
	搬送人員	654	0			36	5	2	69	2	9	408	123		0	0
3月	出動件数	797	11			48	5	2	80	1	5	498	133		2	12
	搬送件数	725	4			41	5	2	74	1	2	463	133		0	0
	搬送人員	734	4			49	5	2	74	1	2	463	134		0	0
4月	出動件数	802	3		1	40	7	9	72	3	4	501	148		6	8
	搬送件数	737	1		0	36	7	9	62	1	4	470	146		0	1
	搬送人員	742	2		0	39	7	9	62	1	4	470	146		0	2
5月	出動件数	764	7		2	55	8	13	78	3	8	455	125		1	9
	搬送件数	709	1		1	51	8	12	71	2	5	433	125		0	0
	搬送人員	731	1		1	69	8	13	71	4	5	434	125		0	0
6月	出動件数	687	6		1	51	2	11	70		7	418	119			2
	搬送件数	648	2		0	45	2	11	69		6	393	119			1
	搬送人員	658	3		0	54	2	11	69		6	393	119			1
7月	出動件数	754	2			45	11	6	73	7	6	468	127		1	8
	搬送件数	711	0			40	11	5	70	6	6	446	127		0	0
	搬送人員	718	0			46	11	5	70	7	6	446	127		0	0
8月	出動件数	853	4			55	6	10	84	4	10	532	128		5	15
	搬送件数	798	1			52	5	9	81	3	5	513	128		0	1
	搬送人員	809	1			60	5	10	81	4	5	513	128		0	2
9月	出動件数	789				49	13	8	84	5	2	485	134		2	7
	搬送件数	747				44	13	8	82	5	2	459	134		0	0
	搬送人員	757				50	13	10	82	6	2	460	134		0	0
10月	出動件数	830	5		1	91	2	4	85	3	10	501	120		1	7
	搬送件数	762	0		0	85	2	4	80	2	4	465	120		0	0
	搬送人員	781	0		0	101	2	4	80	2	4	468	120		0	0
11月	出動件数	736	6			41	13	7	76	1	11	451	115		1	14
	搬送件数	676	1			38	13	7	71	0	8	423	114		0	1
	搬送人員	685	1			45	13	7	72	0	8	424	114		0	1
12月	出動件数	821	9	1	1	59	6		86	5	7	525	111			11
	搬送件数	739	2	1	0	53	6		82	4	6	474	111			0
	搬送人員	753	2	1	0	66	6		82	4	6	475	111			0
合計	出動件数	9,352	67	1	6	607	82	73	933	37	96	5,808	1,501	0	21	120
	搬送件数	8,609	12	1	1	554	81	70	878	28	62	5,420	1,498	0	0	4
	搬送人員	8,738	14	1	1	661	81	74	879	33	62	5,427	1,499	0	0	6

図6 救急月別出動状況

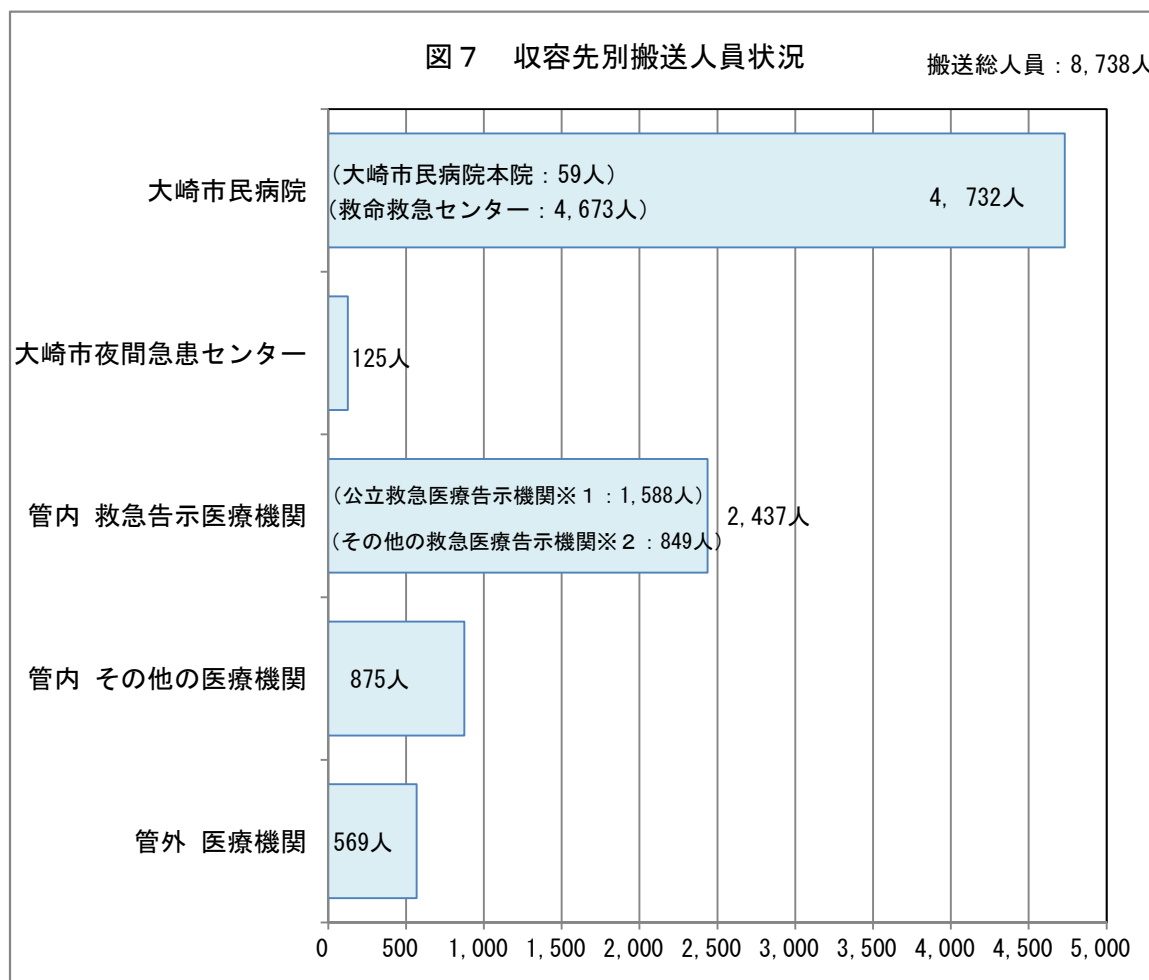


## 7 収容先別搬送人員状況

平成28年中における収容先搬送人員状況は、大崎市民病院（救命救急センター含む）が最も多い4,732人で、その割合は全搬送人員の54.2%となりました。

また、大崎市夜間急患センターへ搬送された人員は125人でした。

大崎市民病院を除く大崎管内の救急告示医療機関に搬送された人員は2,437人で、そのうち公立の救急告示医療機関に搬送された人員は1,588人でした。（図7）



※1 大崎市民病院鳴子温泉分院，大崎市民病院岩出山分院，大崎市民病院鹿島台分院，涌谷町国民健康保険病院，美里町立南郷病院，公立加美病院

※2 古川民主病院，古川星陵病院，徳永整形外科病院，みやぎ北部循環器科，東泉堂病院  
「救急病院等を定める省令」（昭和39年厚生省令第8号）第1条による医療機関 平成28年12月20日現在

### 8 救急隊員の行った救急処置の状況

平成28年中の搬送人員8,738人のうち、救急隊員が救急処置を行った傷病者は8,716人（搬送人員の99.7%）であり、救急処置件数は39,563件となりました。（表4）

表4 救急隊員の行った救急処置件数

平成28年1月1日～平成28年12月31日

事故種別 傷病程度	応急処置 対象人員	止血	固定	人工呼吸	心マッサージ	うち自動	心肺蘇生	うち自動	酸素吸入	気道確保				保温	被覆	在宅療法継続			S Pによる 血圧保持	除細動	（G P A前） 静脈路確保	（G P A後） 静脈路確保	薬剤投与	ブドウ糖投与	その他の応急処 置	血圧測定	聴診器による聴 取	血中酸素飽和度 の測定	血糖測定	心電図		計		
										※1	※2	※3	※4			※A	※B	※C												伝送				
急病	死亡	184					183	59	183	184		2	34	1	75		2		2		7		60	13		130	14	155	30	2	175	1	1,213	
	重症	632		5	6		66	26	350	118	3	1	16		221	1	18	1	3	14		10	6	33	16	1	604	579	301	591	42	528	63	3,496
	中等症	2,592	14	20			3	1	523	42					764	8	50	4	6	40		1	21		15	2,545	2,525	861	2,577	72	1,748	72	11,789	
	軽症	2,007	36	23	1				120	11		1	1		500	13	18		2	16					12	1,963	1,889	529	1,998	30	1,060	31	8,219	
	計	5,415	50	48	7	-	-	252	86	1,176	355	3	4	51	1	1,560	22	88	5	11	72	-	18	43	93	29	28	5,242	5,007	1,846	5,196	146	3,511	167
交通事故	死亡	2	1	2			2		2	2			1		1	1							1								2			16
	重症	37	8	33			3		26	6					17	5							2	1			31	35	29	35		29	3	260
	中等症	194	22	158					33	3			1		52	31							1				167	193	115	193		105		1,073
	軽症	423	34	260					8						65	41											347	407	181	418		82		1,843
	その他	3																									3		3					6
計	659	65	453	-	-	-	5	-	69	11	-	-	2	-	135	78	-	-	-	-	-	-	3	2	-	-	548	635	330	646	-	218	3	3,198
一般負傷	死亡	12		1			12	5	12	12		5	3	1	3						1		3	1			7		11		12	1	75	
	重症	57	10	18			6	1	20	8		4	2	1	27	6	1			1		1	3	2			51	53	23	54		31		314
	中等症	392	51	136			1		23	2		1			96	61	1		1			1	1	1			373	381	87	389		148		1,752
	軽症	413	102	68					7	4		2			103	93	2		1	1							387	384	76	408	1	94		1,729
	計	874	163	223	-	-	-	19	6	62	26	-	12	5	2	229	160	4	-	2	2	-	1	2	7	4	-	818	818	197	851	1	285	1
その他	死亡	21	1	3			21	9	21	21	1		6		10	1					1		6				12	1	20		21		139	
	重症	370	7	10	2		2	1	181	19					139	8							2	1			340	355	107	365		242	16	1,780
	中等症	1,114	21	66					277	5					281	13	2		1	1							1,056	1,085	249	1,113		590	40	4,758
	軽症	263	26	34					26	1					65	23											252	252	49	261		112	6	1,101
	計	1,768	55	113	2	-	-	23	10	505	46	1	-	6	-	495	45	2	-	1	1	-	1	2	7	-	-	1,660	1,693	425	1,739	-	965	62
合計	死亡	219	2	6	-	-	218	73	218	219	1	7	44	2	89	2	2	-	-	2	-	9	-	70	14	-	149	15	188	30	2	210	2	1,443
	重症	1,096	25	66	8	-	77	28	577	151	3	5	18	1	404	20	19	1	3	15	-	10	11	38	18	1	1,026	1,022	460	1,045	42	830	82	5,850
	中等症	4,292	108	380	-	-	4	1	856	52	-	1	1	-	1,193	113	53	4	8	41	-	1	23	1	1	15	4,141	4,184	1,378	4,272	72	2,591	112	19,438
	軽症	3,106	198	385	1	-	-	-	161	16	-	3	1	-	733	170	20	-	3	17	-	-	16	-	-	12	2,949	2,932	657	3,085	31	1,348	37	12,714
	計	8,716	333	837	9	-	-	299	102	1,812	438	4	16	64	3	2,419	305	94	5	14	75	-	20	50	109	33	28	8,268	8,153	2,798	8,432	147	4,979	233

気道確保

- ※1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保
- ※2 喉頭鏡・マギール鉗子等による異物除去
- ※3 救急救命処置のうち、ラリゲアルマスク等を使用
- ※4 気管挿管：気管内チューブによる気道確保

1 在宅療法

- ※A 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴処置が施されているもの
- ※B 気道切開孔又は気管瘻、人工肛門等の外瘻処置が施されているもの
- ※C ※A、※B以外の処置が施されているもの

2 計欄については、止血から心電図までの集計である

※急病の死亡欄には、収容直後に死亡した1例を含むため、心肺蘇生数に差異が生じている。

## 9 PA連携出動状況

PA連携とは、消防ポンプ自動車（Pumper）が、救急要請内容により出動し、救急車（Ambulance）の活動を支援する連携活動のことで、双方の頭文字から「PA」と名前をつけたものです。

当消防本部では、平成18年2月1日から心肺機能停止傷病者等に、いち早く応急処置を行うため、直近のポンプ車が救急車より先に到着すると判断した場合、ポンプ車隊を出動させ、救急活動を支援する連携活動を行っています。（図8～10）

図8 PA連携署所別ポンプ車出動状況

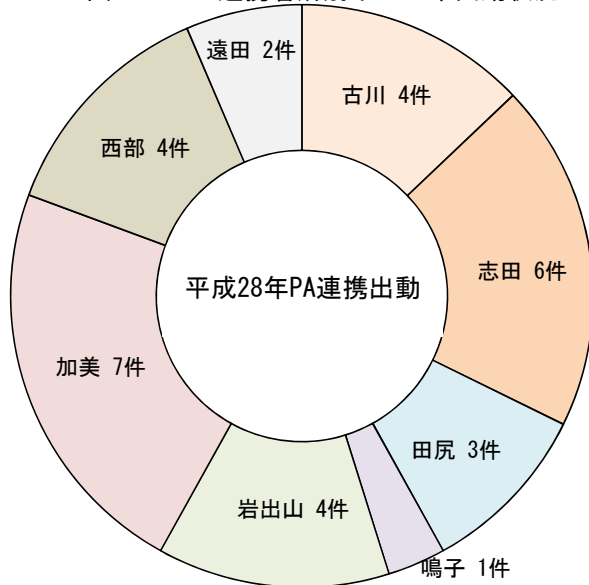
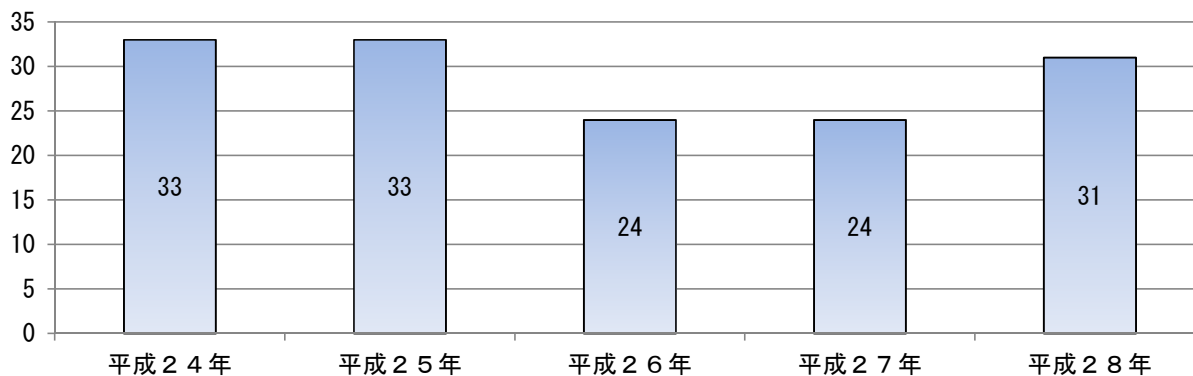


図9 PA連携事故種別



図10 過去5年間のPA連携出動件数



### 第3章 応急手当講習会等の概要

#### 1 講習会の開催状況

平成28年中における応急手当講習会等実施状況は、地域住民、学校、事業所等を対象として、普通救命講習会（講習時間3時間）は146回2,650人、上級救命講習会（講習時間8時間）は8回201人、普及員講習会（講習時間24時間）は1回7人、平成24年から小学生（高学年）を対象に開催している救命入門コースは9回317人が受講しました。

それぞれの救命講習の受講者には「普通救命講習修了証」「上級救命講習修了証」「応急手当普及員認定証」「救命入門コース認定書」を交付しています。

また、簡単な応急手当を学べる「応急手当講習会」を171回開催し、4,068人が受講しました。（表1）

表1 講習会別受講人員

平成28年1月1日～平成28年12月31日

種 別	開催回数	受講人員	内 容
普通救命講習会	146回	2,650人	心肺蘇生法（成人）・大出血時の止血等の講習（講習時間3時間）
上級救命講習会	8回	201人	心肺蘇生法（成人・小児・乳児）・大出血時の止血・傷病者管理・外傷手当・搬送法等の講習（講習時間8時間）
普及員講習会	1回	7人	事業所・地域団体等の従業員に対して、普通救命講習を指導できるための講習（講習時間24時間）
救命入門コース	9回	317人	対象者を小学生中高学年以上（概ね10歳以上）とし、カリキュラムは胸骨圧迫とAEDの使用法
応急手当講習会	171回	4,068人	病気・ケガ・事故等の時、医師の治療を受けるまでの簡単な応急手当の講習
合 計	335回	7,243人	

## 2 性別・年齢別受講者の状況

受講者の年齢構成は、10歳代が最も多く、次いで30歳代、60歳代の順となっております。  
性別構成は、男性と女性の割合がほぼ同じとなっており、男女共に中高生の普通救命講習の参加者が多い結果となりました。（表2）

表2 講習会別・性別・年齢別受講人員

平成28年1月1日～平成28年12月31日

種別	年齢	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代 以上	合 計
	性別									
普通救命講習会	男	795	108	137	110	103	97	27	3	1,380
	女	613	129	133	132	105	123	35	0	1,270
	合計	1,408	237	270	242	208	220	62	3	2,650
上級救命講習会	男	9	10	12	8	11	29	8	1	88
	女	62	12	9	4	11	12	3	0	113
	合計	71	22	21	12	22	41	11	1	201
普及員講習会	男	0	1	1	1	2	0	0	0	5
	女	0	0	0	1	0	1	0	0	2
	合計	0	1	1	2	2	1	0	0	7
救命入門 コース	男	147	/	/	/	/	/	/	/	147
	女	170	/	/	/	/	/	/	/	170
	合計	317	0	0	0	0	0	0	0	317
総 合 計		1,796	260	292	256	232	262	73	4	3,175



### 3 講習会開催の推移

平成9年から開催してきた各種救命講習会の総受講者数は、平成28年までの20年間で62,582人となりました。（表3）

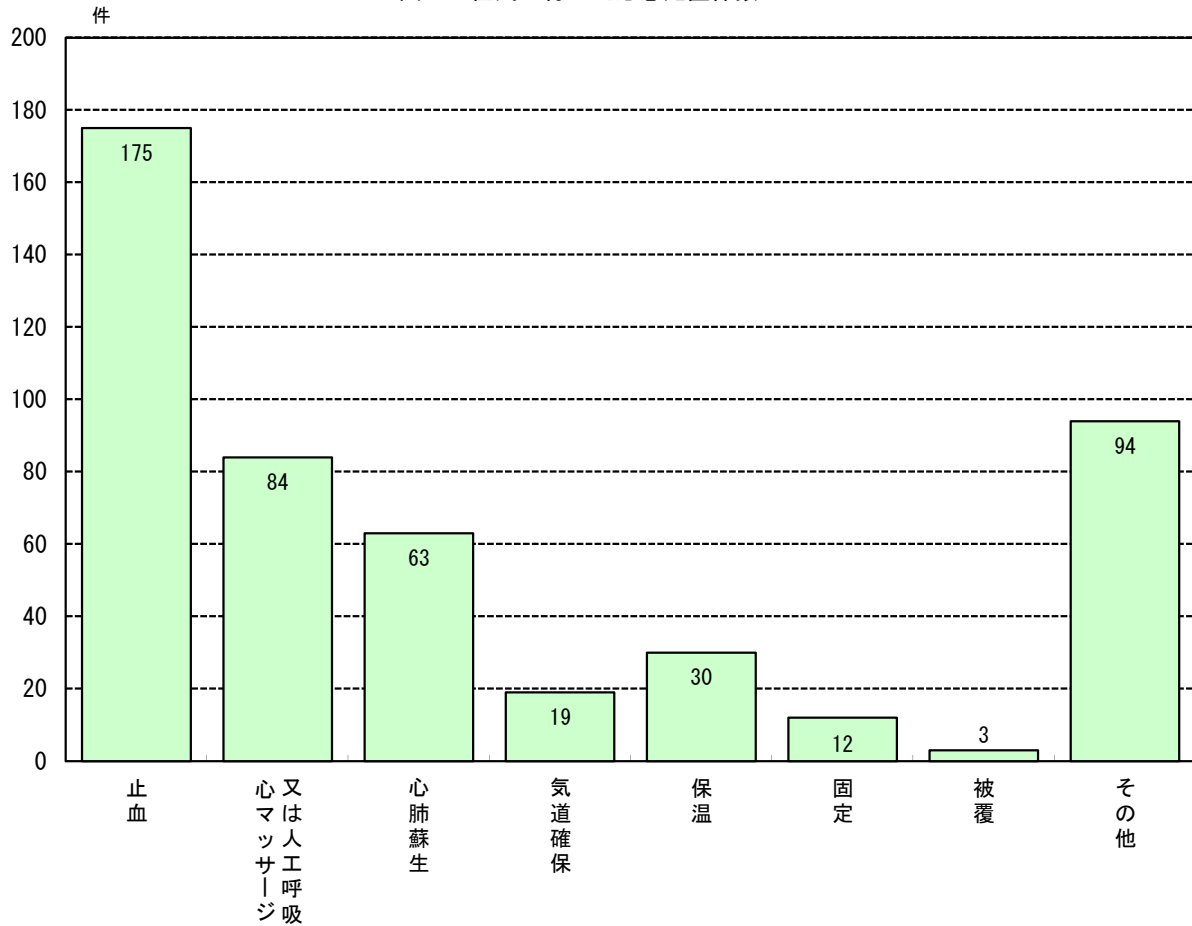
表3 講習会別開催回数・受講人員（平成9年～平成28年）

種別	年別	回数	性別		合計
			男性	女性	
普通救命講習会	平成9年 ～平成18年	1,082	11,622	13,171	24,793
	平成19年	177	1,740	1,869	3,609
	平成20年	192	2,021	1,943	3,964
	平成21年	176	1,720	1,785	3,505
	平成22年	165	1,728	1,605	3,333
	平成23年	133	1,257	1,026	2,283
	平成24年	152	1,455	1,508	2,963
	平成25年	194	2,034	1,965	3,999
	平成26年	172	1,753	1,772	3,525
	平成27年	173	1,556	1,664	3,220
	平成28年	146	1,380	1,270	2,650
	小計	2,762	28,266	29,578	57,844
上級救命講習会	平成11年 ～平成18年	45	464	979	1,443
	平成19年	5	53	118	171
	平成20年	5	59	112	171
	平成21年	8	87	185	272
	平成22年	7	68	132	200
	平成23年	8	97	82	179
	平成24年	7	54	123	177
	平成25年	5	77	64	141
	平成26年	6	47	100	147
	平成27年	7	56	96	152
	平成28年	8	88	113	201
	小計	111	1,150	2,104	3,254
普及員講習会	平成12年 ～平成18年	8	108	164	272
	平成19年	2	2	11	13
	平成20年	1	10	13	23
	平成21年	1	9	8	17
	平成22年	2	7	16	23
	平成23年	1	3	3	6
	平成24年	3	8	10	18
	平成25年	1	3	3	6
	平成26年	1	3	6	9
	平成27年	2	17	2	19
	平成28年	1	5	2	7
	小計	23	175	238	413
救命入門コー ス	平成24年	1	64	71	135
	平成25年	3	52	66	118
	平成26年	8	120	143	263
	平成27年	6	125	113	238
	平成28年	9	147	170	317
	小計	27	508	563	1,071
合計		2,923	30,099	32,483	62,582

#### 4 講習会の効果

応急手当講習会等の効果として、救急隊が傷病者のもとへ到着するまでに家族や友人、さらには傷病者の近くにいた住民等による応急手当が480件実施されました。（図1）

図1 住民の行った応急処置件数



また、救急隊が搬送した299人の心肺機能停止傷病者に対して、住民により心肺蘇生法（心マッサージ・人工呼吸どちらかのみも含む）が実施された傷病者は147人（49.2%）で、そのうち救急隊が傷病者を医師に引き継いだ時点で11人（7.5%）の方が心拍又は呼吸が再開しました。

## 第4章 救助統計

### 大崎管内における救助概要

平成28年中における救助活動実施状況は、出動件数83件（前年比5件減）救助人員62人（前年比226人減）となりました。（図1、図2）

事故種別ごとでは、交通事故が52件と出動件数全体の62.7%を占めております。（図1）

図1 救助出動概要

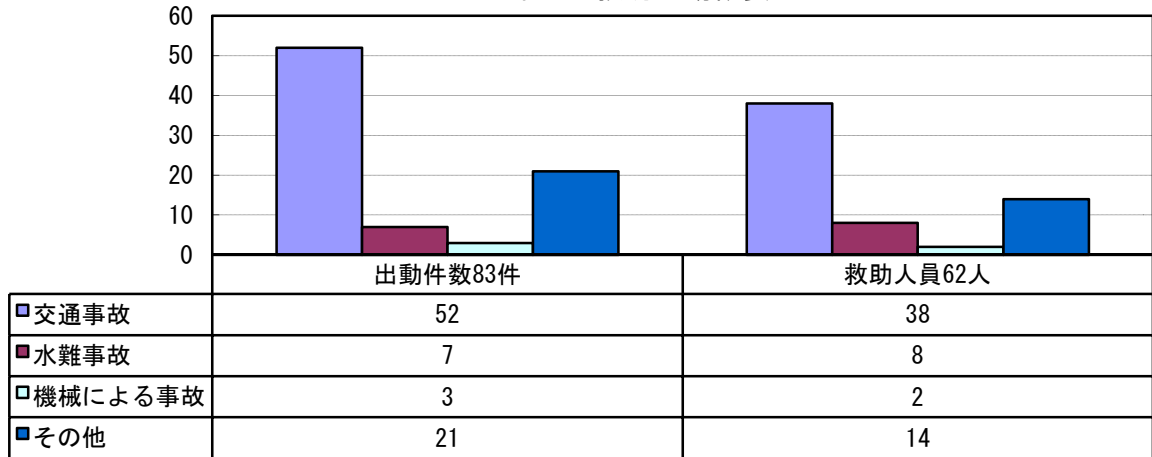


図2 過去5年間ににおける救助概要

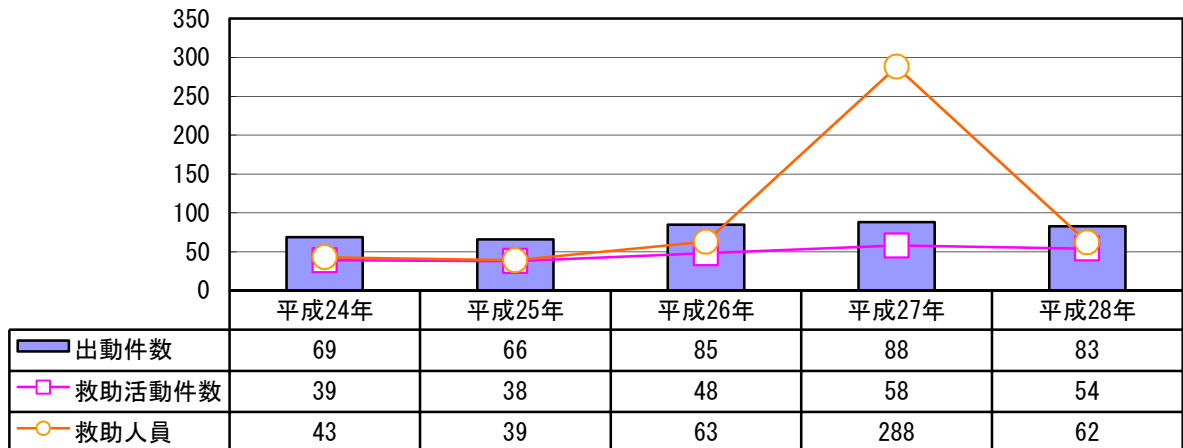


図3 救助事案発生場所

